

中経 論壇

経営支援NPOクラブ
理事長

世良 正



シャープの経営再建が大きな話題になっている。シャープと取引のある中小企業のモノづくりが今後どうなるのか懸念されるところである。

大手企業の海外移転により、日本のモノづくりを支えてきた中小企業が減少し、日本の産業の空洞化が言われてから久しい。浜松・三遠地区の企業が、東京都大田区の産業会館P10で展示会を開催

しているが、この大田区は、東京のモノづくりの中心のひとつである。以前は8千社ほどあった企業が、今は3千社くらいに減っているという。こうした状況の中で、中小企業の支援のために、三井物産の役員が企業OBを集めて、2002年にNPO法人「経営支援NPOクラブ」を立ち上げた。現役時代のモノづくりの経験と人脈を生かして、ボランティア精神に基づき、第一の人生を社会貢献に

日本のモノづくりの将来のため

せら しょう 1962年東京大学薬学部卒、同年三井物産入社。化学品部門で貿易、海外J/V設立などグローバル展開業務を担当。英国、米国、タイでの駐在経験をもつ。2003年経営支援NPOクラブに入会、14年から理事長。1993年12月生まれ。東京都出身。

努力することを理念に掲げている。

現役時代に経験しなかつた分野でも、会員同士のネットワークを活用し、幅広く企業同士を結び付けていることが大きな特徴である。現在、130社程の業務経験豊かな企業OB200余名が参加し、年間2千回を超えるマッチング(販路開拓支援)を実施している。

最近の傾向として、医療・介護分野などへの新規参入を目指す企業が増えている。高齢化社会の中で、健康志向の高まりや介護需要の増大などを踏まえ、新しい製品の開発に取り組んでおり、われわれへの依頼件数も増えている。産業として成長を期待できる分野である。

今後、本欄で当NPOクラブ会員がその活動を通して、日々感じていることをご紹介していきたいと考えている。

第二の人生を社会貢献に